

議事日程（第4号）

平成25年12月17日 午前10時00分開議

日程第1 一般質問

（一般質問通告一覧表）

順位	質問者	質問事項 質問の要旨	質問の 相手	備考
4	8番 黒木 正建	1. 宮田川に架かる琴弾橋（蚊口地区）の建替について ①老朽により橋げたの腐食が進み、通行不能となっている。今後の取り組みについて伺う。	町 長	
		2. 宮田川（古港橋西側）堤防の嵩上工事について ①両岸とも一部護岸及び擁壁工事がなされていない所がある。今後の予定を伺う。	町 長	
		3. 燃やせる家庭ごみの収集体制について ①燃やせる家庭ごみは基本的に週2回の収集となっている。月曜日の収集地区は、ハッピーマンデーにかかるケースがあり、本年度は9回であった。衛生面等から考えると何か方策はないか伺う。	町 長	
5	16番 津曲 牧子	1. 高鍋町の活性化対策を伺う ①観光について (1)町の観光資源をどのように活かして観光振興につなげているのか。 (2)集客のための取り組みをどのように考えているのか。 (3)美術館鑑賞を観光コースに取り入れて、「文教の町たかなべ」をアピールできないか。	町 長 教育長	
		②人にやさしいまちについて (1)具体的にはどのような取り組みがなされているのか。 (2)石井十次先生関係の行事を住民にどのように周知しているのか。また、どのように顕彰していくのか。	町 長 教育長	

		③高鍋図書館について (1)住民の示したアンケートの結果を伺う。 (2)アンケートの結果を受けて町長のお考えを伺う。	町長	
6	5番 緒方 直樹	1. 高鍋町の活性化について ①町人会の現在の状況及び今後の展望について伺う。 ②人口増加させるための手段について伺う。 ③誘致企業の現在の成果及び今後の展望について伺う。 ④町立図書館の整備及び今後の利用について伺う。 ⑤花守山の整備及び観光の集客力を高めるための考えを伺う。 ⑥24年6月の質問での答弁において別館の教育委員会部局を移動する考えを保留していたが、その後の計画及び別館の利用について伺う。	町長 教育長	

出席議員（15名）

1番 水町 茂君	2番 徳久 信義君
3番 岩崎 信や君	5番 緒方 直樹君
6番 池田 堯君	7番 中村 末子君
8番 黒木 正建君	10番 後藤 隆夫君
11番 青木 善明君	13番 永友 良和君
14番 時任 伸一君	15番 八代 輝幸君
16番 津曲 牧子君	17番 柏木 忠典君
18番 山本 隆俊君	

欠席議員（なし）

欠 員（1名）

事務局出席職員職氏名

議会事務局長 間 省二君	事務局補佐 鳥取 和弘君
議事調査係長 山下 美穂君	

説明のため出席した者の職氏名

町長	小澤 浩一君	副町長	川野 文明君
教育長	萱嶋 稔君	教育委員長	黒木 知文君
農業委員会会長	渡瀬 俊弘君	代表監査委員	黒木 輝幸君
総務課長	森 弘道君	政策推進課長	壺岐 昌敏君
建設管理課長	恵利 弘一君	農業委員会事務局長	長町 信幸君
産業振興課長	田中 義基君	会計管理者兼会計課長	宮崎守一朗君
町民生活課長	三浦 敏君	健康福祉課長	河野 辰己君
税務課長	原田 博樹君	上下水道課長	芥田 秀則君
教育総務課長	三嶋 俊宏君	社会教育課長	中里 祐二君

午前10時00分開議

○議長（山本 隆俊） おはようございます。只今から本日の会議を開きます。

日程第1. 一般質問

○議長（山本 隆俊） 日程第1、一般質問を行います。

16日に引き続き順番に発言を許します。

まず、8番、黒木正建議員の質問を許します。

○8番（黒木 正建君） 傍聴席も大分ふえまして、少ないのになれてるんですけど、本日はどうもありがとうございます。

それでは、通告に従い3項目について質問いたします。

その前に、昨日は青木議員のほうで、キャロラインケネディ大使、これに山形県が招待状を出したという旨のきょう新聞記事「うすでこ」のほうに載ってましたけど、ほとんど見られたと思いますけど。せんだって、ローマ法王への献上米でブランド化を図り、限界集落を活性化ちゅうことで、高野さんという方のプロフィール、講演聞きに行かれた方も多数いらっしゃるんじゃないかと思いますが、非常に積極的に活性化を図るために、行動力のある方のそういう講演を聞きまして、山形県もさすがだなと感心したところであります。

高鍋町もそういう積極性を持って、断られてもともとというような、そういう意気込みで取り組んでいけたらいいなと思いますし、また、私個人もそういうふうに思っております。

それでは、3項目についてお伺いします。

まず、宮田川にかかる琴弾橋、これは蚊口地区にあるんですけど、建てかえ、かけかえについてお伺いします。

現在、老朽により橋桁の腐食等が進み、通行不能となっております。今後の取り組みについてお伺いします。

2番目に、2項目めに、宮田川、これはJR古港橋の堤防のかさ上げ工事なんですけど、兩岸とも一部護岸及び擁壁工事がなされてない部分がありますが、今後の予定をお伺いします。

3番目に、燃やせる家庭ごみの収集体制についてお伺いします。

燃やせる家庭ごみは、基本的に週2回の収集となっております。月曜日の収集地区はハッピーマンデーが入るケースがあり、本年度は9回あります。夏場等、衛生面等から苦情等が出たりしているわけなんですけど、何かいい方策がありましたらお伺いしたいと思います。

なお、詳細につきましては発言者席から伺いたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） おはようございます。お答えいたします。

まず、琴弾橋のかけかえについてでございますが、これにつきましては、現在、橋梁調査業務委託を実施しているところでございます。その結果を踏まえて、今後の取り組みにつきましては判断してまいりたいと考えております。

次に、宮田川堤防のかさ上げについてでございますが、国土交通省へ確認を行いましたところ、未施工箇所につきましてはJR近接工事区間であり、現在、JRとの協議、調整中で、調整がございましたら施工する予定であるとの回答でございました。

次に、家庭ごみの収集体制についてでございますが、燃やせるごみにつきましては、西都児湯クリーンセンターを經由し、エコクリーンプラザみやざきで焼却処分を行っているところでございます。

ハッピーマンデー等、燃やせるごみの収集日が祝日に当たる場合の対策につきましては、以前にも関係団体との調整や収集現場との方策の検討を重ねましたが、燃やせるごみが広域的処理であるため、本町のみが祝日に搬入を行うことについては、いまだ西都児湯クリーンセンター構成市町村間での意見の一致を見ておりません。

また、エコクリーンプラザみやざきへの直接搬入につきましても、地元との協定上、認められないことなどから、現段階においては非常に困難と考えております。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 只今、町長から答弁いただいたんですけど、まず1項目めから順次質問させていただきます。

この琴弾橋は木の橋で、川幅が約7メートル、橋が延長約10メートルで、重量が1トン未満ということで、現在、歩行者、それから自転車、それからバイク等、非常に利用する方々が多くて、差し詰め、もぐり橋のミニ版というようなところじゃないかと思えます。

ないと非常に不便を感じる。なければそれで済む場合もありますけども、長年、この橋は近辺の方たちも使ってこられましたので、私たちも小学生のころからずっとここを活用したり、また川ですので、非常に川遊びやらしたいろんな思い出があるまた橋でもあります。

調査結果、これ実際この橋の調査されたと思うんですけど、その結果が出るのはいつごろになる予定ですか。

○議長（山本 隆俊） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 只今の質問ですが、今年度末、平成26年3月末の予定でございます。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 実際あの橋を見てみますと、全体的に非常に古くて、中央を歩かなくて横を行くと片方は上がるちゅうふうな、そういう、とめてあるくぎなんかもぼろぼろで、危険と隣り合わせのような状況の橋であります。

できた当時とかは非常に珍しくて、また非常に好評だったんですけど、月日がたつとともにどんどん老朽化して、現状では、役場のほうでも柵をつくったりして、通行どめの看板を出したりしてやっておるような状況であります。

今後、木造なんです、木の橋、それが可能かどうか、それともコンクリート造の永久橋、そういうふうになるのか。

せんだってかけかえになったときも、私も議員してたもんですから、公民館長さんといろいろそこ辺も話しよったり、それを永久橋にする場合に、河川敷のほうに個人の所有地といますか、そういうのが入ってきたりして、いろんな測量等も大変苦労したような経緯があります。実際測量させてもらって、どちらになるのかなということだったんですけど、木の橋ということになったんですけど。

今後、木の橋というのは、私の考えでは、ほとんどもう、どこそこを、ここを修繕したり、改良したって、木の橋無理じゃないかというような感じを受けるんですけど、今後、永久橋、コンクリート、そういった永久橋になるのか。それと、国交省のほうとしても、木の橋は許可が出ないんじゃないかという、そういう話も聞いているんですけど、その点をお伺いします。

○議長（山本 隆俊） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 今言われたように、木橋を、木の橋を新しくかけかえるということは非常に困難と思います。道路構造令に合った橋をかけるということになりますと、RC鉄筋コンクリートか、そういう橋じゃないと、かけかえについては許可が出ないと思っております。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 先ほど申したように、永久橋となったら、そういった地権者とのいろんなまた話し合いとか再度、そういうくい打ちとか、そういうのはもう平成9年ですか、その当時終わったんですけど、実際またそれから16年ぐらいたってるんですかね。また状況も変わってきてるんじゃないかと思えます。

また、永久橋等にするとしたら、道路の拡幅、そこ辺の問題とか、地権者とのまた話し合いとか、いろんな問題が出てくるんじゃないかと思えますけど、3月にそういった検

査結果、これが出るということですので、専門家はその橋を見れば、どんなかというのはすぐわかることじゃないかと思うんですけど、その後のいろんな資金面とか、道路面とか、地権者とのいろんな問題がありますので、3月のそういう結果を待ちたいと思います。それから、またそこ辺でいろんな質問等を行いながら、実現に向けて進んでいきたいと思っております。

続きまして、宮田川ですけど、去年の3月ごろからですかね、JR日豊線の古港橋、あれから右岸のほうがちょうど、前、老人ホームなんかあったところですね。現在、堀の内団地なんかありますけど。あちらのほうはまだ未施工で、鉄道に入らんようにネットがこうやって張ってあるんですけど、そういう擁壁等がなされてない分が約15メートルぐらいですね。それから、左岸のほう、これは5メートルちょっとぐらいなんですけど、そちらのほうも施工されてないような状況なんですけど。あと、10号線の古港橋、あれから南九大のほうに向かって右側のほう、今舗装工事をやってます。これも来年の3月ごろまでに終わらんじゃないかと思うんですよ。あと、この一般質問出してますけど、一番気がかりになるのが、兩岸の未施工地区なんですけど、その流れとしては、今話したようなことでよろしいんですかね。

○議長（山本 隆俊） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 未施工地区につきましては、先ほど町長が答弁しましたとおり、国土交通省とJRの協議が必要ということで、今現在調整中でありまして、国土交通省とJRの協議が済み次第施工するということですのでよろしくお願いいたします。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 町のほうで海拔何メートルとか、いろいろな標識がずっとしてあるんですけど、近くでは海浜公園のグラウンドゴルフ場がありますよね、あそこが4.5メートルですかね。あそこにずっと行った、川のほうに向けて約1.7メートルぐらいの擁壁がずっと設けてあるんです。これは高鍋の業者さんがやられたとこなんですけど、6メートル二、三十ぐらいになると思うんですけど。

あと、鉄橋から西側、両方がしてないんですけど、そこの、先ほど申したように未施工分、ほかの部分には約1メートルの擁壁がずっとしてあります。上まで、二本松の下辺までですね。たしか1メートルの違いなんですけど、今度いろんな震災なんかでもそうですけど、ちょっとした何センチとか、何十センチの違いで大きな災害になったりとか、いろんな、もうちょっと高かったらとか、もうちょっと上にいたら助かったとか、いろんなの出てます。

鉄橋まで大体6.8メートルぐらいというふうに聞いているんですけど、あそこから宮田川がずっと流れてるんですけど、宮田川の流れ、大体1.5メートルぐらいですね。先ほど話しました琴弾橋、この高さは大体3メートルぐらいですかね。宝酒造の高さ、あそこ辺が3.3メートルあるんですよ。駅前の交差点、あそこが5.9メートル、蚊口学習等供用施設が4.5メートルということ。

そのたかが1メートルですけど、そこから水が、ちょうど一番津波が来る出だしのところですね。そこから両方に海水等が入ったら、堀の内団地は、あそこ辺はもう水没してしまう。

こっち宮田川沿いも、そういう大きな台風が来たときはもう、低いところは、琴弾橋のそこ辺はもう水が床下辺まで来るような状況です。8メートルぐらいのそういう波とか、そういうの来たらもう鶴戸神社の前あたり、あそこは9.4メートルですか、あるんですけど、そこ辺がちょっと残るぐらいで、蚊口は全滅じゃないかと思うんですよ。

きのうもそういう、議員の中からいろいろ防災についての質問等がありまして、マグニチュード7で、市町村別のそういった被害想定ちゅうのが出てましたけど、2時間ぐらいで最大11メートルぐらいになるとか、そういうあれやった。ほとんどもう水没してしまうというような状況で、せっかく施工されたところもあるんですけど、未施工分、さっきから言ってます、そこを早急にやっついていかないと、これいつ来るかわからんことですけど、ずっと来ないかもしれんし、ぽっと来るかもしれんし、だから、行政のほうからもいろいろそこ辺、積極的に働きかけていただいてやってもらいたいと思うし。

また、もとの蚊口保育園の下のほうに来たら、なおさら低いんですね。だから、もう大海原になるような状況です。そういうふうになるというのが8メートルぐらいの波の高さで、11メートルならなくても、そういう危険性を十分秘めてますので、そこ辺を積極的に交渉していただいて、実現していただきたいと思います。

何かありましたら一言、その件に関しまして。

○議長（山本 隆俊） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 未施工部分につきましては、早急に、できるだけ早く着工できるように国交省に要望していきたいと思っております。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） そういう一大災害になるような危険性を秘めてますので、そこ辺をけんかするぐらいの勢いで、人の命を守るためのあれですから、やっていただきたいと思います。

続きまして、3項目めの燃やせる家庭ごみの件なんですけど、高鍋町でこういう収集体制のあれいただいているんですけど、84地区がありまして、35地区と49地区、計84になると思うんですけど、分けてあるんですけど、これが月曜と木曜日と、火曜日と金曜日ということで。先ほど話が出ましたように、月曜日がちょうど休みになったりすると、結局生ごみ等が間隔が1週間になるわけですね。非常に量的にもふえて、また特に夏場等、そういった場合に、においとか、特に蚊口あたり猫が多くて、そしてまたカラスが多くて非常に大変なんですよ。

私も家の前がちょうど収集場所でもあるから、ごみの番人をしてるようなもんなんですけど、確かに量がすごくて、網やかぶせたりしてるんですけど、かぶせ切れないぐらいの量になったりしております。

あと、行政のほう、この84地区の、先ほど言いましたように、35と49地区に分けてありますけど、これはいつごろ始まったことですか。

○議長（山本 隆俊） 町民生活課長。

○町民生活課長（三浦 敏君） 現在お渡ししているのは、この収集体制、燃やせるごみ、それと燃やせないごみ、資源ごみ、プラスチック、あと古紙とか、最終的な見直しは23年の清掃審議会の中で諮り、このように決定させていただきました。

燃やせるごみにつきましては、そのときには変更は行っておりませんので、燃やせるごみについては西都児湯クリーンセンターが開業したとき、平成17年、どこの市町村もそれに合わせて収集体制を組まれていると思います。

以上です。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 町民の方からは、そういったごみの問題でいろいろ出てきて、担当課の職員やはいろいろ真剣に検討された、そういう話は伺っております。これを変えるちゅうのは大変だちゅうのはわかります。町民のほうからしてみると、同じ流れちゅうか、パターンでいくよりも、たまには変えてもらっていいじゃないかというような、そういった不公平感ちゅうか、そういうのもあるんじゃないかと思います。

行政のほうとしても、いろんなそういったごみ減量化、そういった面について、いろんな実地指導したり、文書等によるいろんなPR活動もやっておられると思います。しかし、そこ辺も引き続きそういった協力体制といいますか、そういうなのをしてもらうような、そういったPR活動を今後続けてもらいたいし、また、町民からもそういう話が出てるということを頭に入れていただいて、何かいい方策があったら、変えない、やらないじゃなくて、何かいいアイデア、そういったものを出していただいて、町民の方が納得していただければ一番いいんじゃないかと思いますので、そこ辺をお願いしたいと思います。その意気込みをぜひ最後に聞かせてください、課長。

○議長（山本 隆俊） 町民生活課長。

○町民生活課長（三浦 敏君） 今の質問なんですけど、この収集体制の変更につきましては、今やっと定着してきたかなと思われるんですけど、これを一挙に変えるとなると相当な混乱を招くと。特に高齢者等は、いきなりはいずれにしても変えられないんですけど、困難を伴うということで、当然、清掃審議会に諮りながらさせていただきたいと思いますが。

現在のところ、町民生活課としても、この収集体制について、夏場、特に生ごみについて、夏場については、町民生活課が発行している環境広報、それに出前講座等で、衛生的な管理の仕方を十分周知させていただきたいとは思っております。

収集体制については、現在のところ、まだ検討、町内の収集体制、検討はしておりません。変更は。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 只今、課長のほうから答弁していただいたんですけど、現状の収

集体制がベストだということでやっておられると思うんですので、ごり押しするつもりはありませんけど、また今後、頭に入れていただいて、また何かいい方策がありましたら、ぜひまた考えていただきたいと思います。

あと、話はそれですけど、先日、新富のほうで93歳ぐらいの方がごみ、朝、早朝出しておられるときに車にはねられて亡くなられたんですけど、私も現場やら見にいったんですけど、道路を横切るときに車にはねられたということで、蚊口のほうも街路樹でいろんな障害になってるちゅうようなことで、6月の一般質問出して、建設管理課長を初め、担当課職員の方たちの協力で、駅前から宝酒造のほうに向かう街路樹全部切ってもらったんですけど、非常に見通しがよく、非常に感謝されてるんですけど。

今、ひとり暮らしの方たちが結構多くて、ごみ出し等が多いんですね。それで、高齢者の方たちに近所の人が手を差し伸べても、80代後半とか、90ぐらいになって1人でおられる方というのは非常にしっかりしておられて、人の世話にならん、自分のあれでやるちゅうような、そういうのがあるから、そういう事故につながったんじゃないかと思いませんけど。

そういう、ただごみだけじゃなくて、それを取り巻くそういう環境とか、そこ辺も一緒に考えながら、住民の方が安心して生活できるような、そういう体制のほうに向かって進んでいただいたらいいんじゃないかというような考えを持っています。あと、またよろしく検討方お願いいたします。

以上で終わります。

○議長（山本 隆俊） これで、黒木正建議員の一般質問を終わります。

日程第1. 一般質問

○議長（山本 隆俊） 次に、16番、津曲牧子議員の質問を許します。

○16番（津曲 牧子君） 皆様おはようございます。先日テレビに宮崎県のシンボルキャラクター、みやざき犬が新しくなった古代衣装で登場していました。

ことし何かと話題に上ったキャラクターですが、ひいくん、むうちゃん、かあくんの3匹です。我が町の大使くんもいろいろなイベントに参加し、負けずに頑張ってくれていると思います。

本県は、1年を通して四季折々の観光が楽しめて温暖な気候、神話や古墳、人の温かさ、宮崎らしい食べ物が売りですが、以前に比べて観光低迷が言われているところです。そのような状況の中で、我が町高鍋町が住みやすい町、住み続けたい町、町外の人にとって一度訪れたい町、また来たい町、人に紹介したい町、そして活気のある町の基本となるものは定住と交流だと思います。

人の流れは、それだけで活気、元気をつくる源です。町長が平成25年の第1回定例会に示された施政方針の活性化対策の課題に関連して、3つの項目について質問いたします。

1つ目は観光についてです。高鍋町にあるたくさんの観光資源ですが、これをどのよう

に生かして観光振興につなげ、また集客のための取り組みをどのように考えていらっしゃるのか伺います。

県内で、芸術の秋にふさわしい催しが行われていて、各美術館においても魅力のある展覧会など実施されています。高鍋町の誇れる高鍋美術館の企画展鑑賞を観光コースに取り入れて、文教の町高鍋をアピールし、観光振興の一助を担える取り組みを検討していただきたいと思います。

2つ目は人にやさしいまちについてです。人にやさしいまちのフレーズは、施政方針の中で町長の優先課題の1つであり、孤児の父、石井十次先生の愛と慈しみの心に通じるものだと思います。人にやさしいまちの具体的な取り組みを伺います。

石井十次先生関係の行事が、石井十次顕彰会を中心に行われていますが、住民へはどのように周知をされているのでしょうか。また、子供から高齢者までの幅広い世代に今後どのように顕彰を広げていく考えかお聞かせください。

3つ目は高鍋図書館についてです。ことしの9月に、高鍋町民2,000人を対象に行われた第5次総合計画策定のためのアンケートの結果を伺います。図書館についての結果のみお伺いいたします。その結果を受けて、町長はどのようにお考えでしょうか、伺いたいと思います。

あとは発言者席からいたします。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） お答えいたします。

まず、観光資源の活用についてでございますが、本町が有する海、山、川の豊かな自然、歴史的なたたずまいを保全しながら個性ある景観を形成し、観光振興につなげていく必要があると考えております。

平成23年度から実施しております高鍋大師花守山整備事業は、本町の観光振興の拠点地域として高鍋大師周辺に花や木を植え、四季折々に楽しめる施設として整備する大変重要な事業であり、NPO法人高鍋町観光協会と連携し、事業を進めているところでございます。

また、現在高鍋町観光振興基本計画を策定中であり、策定後は計画に基づき地域資源を生かした魅力ある観光地づくりを、官民協働により進めてまいりたいと考えております。

次に、集客のための取り組みについてでございますが、県を初めNPO法人高鍋町観光協会やさいとこゆ観光ネットワークとの連携により、現在観光客誘致の取り組みを進めているところでございます。

町といたしましても、昨年度から緊急雇用創出事業を活用したラジオ、テレビ放送によるPR事業を初め、あらゆる媒体を活用し、観光案内やイベント等のPRに努めているところでございます。

次に、美術館鑑賞の観光コース取り入れについてでございますが、高鍋町商店街連合会主催により美術館鑑賞と商店街散策等を組み合わせたたかなべ散策の旅を企画、実施して

いるところでございます。

現時点では、町が企画する観光ツアーは実施しておりませんが、今後検討してまいりたいと考えております。

次に、人にやさしいまちづくりについてでございますが、障害者や高齢者を初め地域で暮らしている誰もが安心して自立した生活を送ることができる、ともに支え合う地域福祉が充実したまちを目指す取り組みとして、障害者の相談支援を一元的に行う基幹相談支援センターを4月に開設し、上半期で延べ484人の相談、支援を行いました。

また、7月には旧舞鶴荘を改修し、高齢者や障害者を初めとするさまざまな世代が交流できるふれあい交流センターを開設いたしました。11月末現在で360人の利用者があり、10月に行われました空手の国際交流では宿泊施設としても利用されるなど、利用者から大変好評をいただいております。

さらに、子育て支援といたしましては地域子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、子育て短期支援、放課後児童健全育成事業保育所で行われる延長保育や一時預かり保育等を実施することで、子育て世代にもやさしいまちになっているものと考えております。

次に、高鍋図書館についてでございますが、アンケート結果につきましては、総合計画町民意識調査として後日、町のホームページ等で公表する予定としております。その結果についてでございますが、回収率は約38%で、その概要は約8割弱の方が図書館をほとんど利用されていない状況でありました。

施設の問題点では、駐車場の広さ、閲覧スペース、蔵書数等が上げられており、今後アンケートの結果分析を行いまして、財政状況等を勘案しながら慎重に検討してまいりたいと考えております。

○議長（山本 隆俊） 教育長。

○教育長（萱嶋 稔君） 石井十次先生関係の行事をどのように周知しているのか、また顕彰していくかについてでございますが、関係行事といたしましては石井十次賞贈呈式、石井十次生誕記念式典、石井十次顕彰のつどいがあり、各広報紙などで周知しております。

顕彰方法については、石井十次顕彰会などの団体と連携し、石井十次賞贈呈式など各種行事への支援、また石井十次顕彰会だより、石井十次小伝などの配付についても協力を行いながら、顕彰してまいりたいと考えております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 観光について、まず質問いたします。

現在、高鍋町で観光客が見えたときに、一番人気のある場所というのはどこをお考えになれますか。また町が特別に力を入れている観光地はどこでしょうか。お伺いいたします。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 一番人気のあると申しますと、例えば2日間しか営業はしていませんけれども、お染のほうのひまわり、キャベツ畑のひまわり祭りが一番人気

があるかなというふうに思っております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） もう一つ、今質問しましたが、町が特別に力を入れてる観光地はどこでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 失礼しました。先ほどの町長の答弁にもございました。テレビ、ラジオ等でもいろいろ出ております、大使くんが行くでも出ておりますけれども、高鍋大師を今古墳とあわせて人気のスポットだというふうに考えておりますので、力を入れております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 私は、今高鍋めいりん観光ボランティアガイドの1人としてガイドをさせていただいてるわけですが、ここ数年高鍋大師、古墳のほうに観光客が非常に多くなっている感じがいたしております。

この高鍋大師花守山事業に関しまして、特に町のほうも力を入れてくださってますし、今継続して事業のほうをされてると思いますが、今高鍋町、特に町長も力入れてらっしゃる高鍋大師の観光客の推移は把握してらっしゃいますか。ここ2年ぐらいどのような推移になってますか、お伺いいたします。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 観光客の利用客数ということで、今観光動向調査というのがございますけれども、この中の数値等で見ますと確かに22、23、24あたりで見ますと数字が相当ふえてきております。

その中でも、御指摘の高鍋大師、持田古墳こちらが去年は1年間で1万人ほど、ことしはもう既に9月現在までで1万人を超えてる状況でございます。それから当然キャベツ畑もそうですが、それぞれの地域、施設等におきまして観光客数というのはこの数年間はふえてきているような状況でございます。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） こういう観光客の数字を、推移を町のほうでもしっかりと把握していただき、また観光協会とも連携をとって、そして私たちボランティアガイドもしっかりとそのところを周知してガイドしていきたいと思っております。

活性化のため、そしてまた交流人口をふやすために基本計画を策定し進めるためにも、今高鍋町にふえつつある観光客を本当に大事にしていくことが今後の高鍋町の活性化につながるのだと思います。ぜひまた、現場で頑張っているボランティアガイドの声も聞いていただき、高鍋らしいおもてなしの心につながると思います。

次に、観光客誘致に関してはいろんな、ラジオテレビ等の放送もとても大事です。そのために今観光客がふえつつあると思いますが、私が現場でもう一つ感じたのが、観光客の方のロコミなんです。

女性のネットワークというのは、観光客誘致の中でもとても大事だと思います。女性をまず誘致するためには、食事、スイーツ、温泉が必要だと考えますが、町独自でこの口コミを利用して観光コースを企画するお考えはありますか。特に女性を誘致する観光コースというのをお考え、その企画はあるのでしょうか。お伺いいたします。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 只今おっしゃいました各施設の中で、特に美食温泉めぐりの湯というのがございます。このリニューアルに際しましては、特に食、それも女性の30代から40代ぐらいの女性を中心にしたアンケート等をとらせていただきまして、そこをターゲットにしたということをつくろうという判断もしておったんですけども、なかなかうまくいかないという状況がございました。

もちろん、いろんな、ひまわりもそうですし大師もそうですけれども、女性客というのが多うございます。そういう部分で観光協会さんともいろいろお話をしながら、もしそのようなコース等が設定するようなことができるようであれば、また今後検討する必要もあろうかという話をしているところでございます。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） ことし町内業者が開発した製品が、スイーツですが農林水産大臣賞に輝き、今とても好評です。町家に置いてある焼ドーナツもよい評判を聞いています。

ほかにも地場のものを使ったいろんな商品開発がされています。そういうお菓子が多数あるので、こういった商品をその女性をターゲットにしたコースの中で有効に使っていくPRの方法もあると思います。

そのスイーツに関連してお伺いしますが、先日米粉シフォンケーキがテレビで紹介されました。以前に私も、とてもおいしくて町家に買いに行った覚えがあります。以前新商品開発で補助金を出して、米粉シフォンケーキを販売していた団体は、今現在どのような活動をされているのか伺います。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 工房ゆいのことかなというふうに思っておりますが、現在もいろんな開発等、もちろんキャベツに限らずいろんなスイーツもそうですし、米粉にも限らずいろんなものを使いながらいろんな開発を地道に続けていらっしゃいます。

いろんな部分でもいろんな役職等になっていただくようなことがございますので、そういう意味では女性のグループとしての利用ていまいしょうか知恵とていまいしょうか、それらをうまく発揮していただいているものと思っております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） これは、以前からとても人気があった商品ですので、町家のほうにも置いていただけないでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） シフォンケーキについては置いてあったと思いますが、

まだほかのそのいろんな開発のをということに関しましては、今後町家さんのほうともいろいろ御相談をさせていただきながら、置かせてもらうようにしたいというふうに思います。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） そのスイーツの工房ゆいには、今の時点で補助金はまだ継続して出しているのでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 商品開発に応じた、商品を開発することについての補助という制度はとっておりますけども、それを毎年継続してその団体に補助をするということではございませんので、また新たに何か町の特産品となるようなものを開発されるというような状況になれば、当然そちらのほうには補助をするということになるかと思えます。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） そういう頑張ってもらってる女性がいるわけですから、またいろいろな形で町としてもPRをしていただきたいと思えます。

次に、美術館を観光コースに入れる検討をしていただくということでしたが、私としては高鍋大師に大型バスで見えるお客様を、また町内のほうにもどうしても来ていただきたいと思いがあります。高鍋大師から町家、商店街、温泉のコースで案内をしたいと考えます。

観光会社に、高鍋大師、商店街、美術館、めいりんの湯のコースのPRをして、これぞ高鍋のお勧め観光コースといえるような定番コースを考えていただけませんか。ボランティアで行っているガイドの方が、お客様に高鍋町のいいところを知っていただき、また自分たちも楽しく説明ができるためにもぜひお願いしたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 今議員がおっしゃいましたように、いろんな資源がございます。その資源のそれぞれ一つ一つを整備拡充するのは当然なんですけれども、それを線で結びながら、そして最終的には面で結ぶというそういう計画というのが必要だろうと思えます。

そういう面では、今観光振興基本計画というのを策定中でございますので、その中に組み入れるような形で進めていければというふうに思います。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 高鍋大師、高鍋町もですけど、観光会社を通して、観光協会を通して見える観光客以外に、また個人でも高鍋大師に見える方たちもいらっしゃいます。

この方たちにも、やはりそういう例えば60分コース、90分コースの高鍋の観光コースをお示しして、高鍋大師堂もあることですからそこにパンフレットをつくって置いていただき、また個人のお客様にも、また町内のほうにも来ていただくというPRもお願いし

たいと思います。

関連してお聞きします。集客のポイントの1つである高鍋美術館ですが、この高鍋美術館は県内で数少ない公立美術館で、24年度から現在の安井館長を迎えて館内の整備、企画展の充実を図っていただいているところです。特別展開催中は、ぜひ観光コースに取り入れてほしいと思います。

魅力のある企画展は、それだけでも観光面での大きな期待ができますし、県外からの集客も可能になると思います。今年度の高鍋美術館の企画展を楽しみにしていた私の友人がいるのですが、この友人からも聞かれましたし、また先月朝倉市との文化交流会があったときも、この方たちに美術館の企画展の案内をすることも考えていましたが、今年度予算編成の中に組み込まれてははずのいわさきちひろ展、東村アキコ展が行われなくなったのはなぜでしょうか。開催できなくなった理由を、それぞれに教えていただきたいと思えます。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 楽しみにされておられた方々につきましては、大変申しわけなく思っております。

まずいわさきちひろ展のほうなんです、開催にかかります条件提示につきましての認識の食い違いが出てきたことによるものであります。こちらについて、その後再協議をしまして、このいわさきちひろ展については来年度開催の方向で現在合意を見まして、準備を進めているところです。

次に、東村アキコ展についてですが、これは東村氏との交渉の中での諸事情により開催ができなくなったということでございます。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 今答弁いただきまして、いわさきちひろ展に関しましては来年度開催されるということで、またこれも楽しみがあるわけなんです、ただ今年度開催ができなかったということに関してちょっと質問をいたします。

今年度の、当然予算にも組み込まれていたことですし、またそういう企画展をする中で双方とのしっかりとした話し合いの上で、当然合意のもとでこういう企画が上がっていると思います。

いわさきちひろさんといいますと、やはりもう当然お名前は知れた方ですし、当然これは観光という面から見ても県外の方も呼びできるような企画展ではなかったかと思えます。この企画展、いつ今年度の開催中止が決まったかわかりませんが、このいわさきちひろ展に関しましてその食い違いというのは何だったんでしょうか。お聞かせください。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） いわさきちひろ展で打ち合わせの中でいろいろ出てきたところで、いわさきちひろ美術館のほうから、開催に当たるときの条件提示が幾つかござ

いました。

負担金のほうはよろしいんですが、一つは開催時期についてでありました。いわさきちひろさんにつきましては、御存じの方が多くはんですけども、子供それから平和ということを生涯のテーマに掲げられて諸作品を描かれておるところから、子供を対象としたというふうな意味で夏休み中の開催を御希望されていたようです。

そのところが、これが必須であるというふうな認識がちょっと美術館のほうとしては足らなかった部分がございます、秋口に開催することで進めておったところがそうでなかったと。

それから、あと広告広報の部分で、いわさきちひろ美術館さんのほうからは条件提示がありまして、細かくいろいろあったんですけども、テレビ、ラジオ、それから各種新聞、それから電車とかバスの中吊り広告ですか、そういったところまで細かく指定がされていたようなんですが、こちらにも実は必須条件ということだったようです。

ところが、こちら当初の高鍋美術館のほうとしましては、広告広報につきましては、こちら高鍋美術館——主催者としてこちらの考え方である程度できるものだというふうな、ちょっと認識の食い違いがございました。

そういったこともありまして、条件がちょっと折り合わなかった部分がある後にちょっと見られまして、じっくりその後話し合いをしまして来年度やりましょうということで、現在合意をして、協議を進めているという状況です。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。「いわさきちひろ展」に関して、今のような答弁をいただきましたが、本当に何回も繰り返しますが、私たち議員協議会の場でも今年度の事業計画をいただいております。その中にも当然入っておりましたこの企画展ですが、やはり今年度中止が決まった段階で、議員協議会の場でも説明なり、そういうことがあってもよかったんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 社会教育課長。美術館展覧会のスケジュールについてですけども、これはどこの美術館もそうなんです、あくまでも予定ということで、変更も中にはあると考えております。

で、議会のほうの説明につきましても、今後の予算審議の中で出てまいりますので、その中で御説明をするという予定で考えておったところです。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。今、予算審議の中で出てくるだろうということでしたが、やはり、これは期間もしっかりと決まっている企画展でしたので、それがこの期間に行えないということの説明はやっぱりしっかりとさせていただきたいと思っております。議員協議会の場でもお願いしたいですし、また、美術館協議会の場でもそういう「いわさきちひろ展」、また「東村アキコ展」に関してもいろんな協議がなされたのでしょうか、お

伺います。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 社会教育課長。今年度の美術館協議会の中といたしますか、今回は、各委員さんの日程の都合上、まだ今年度の協議会は開催ができておりませんので、協議はしてないということであります。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） それでしたら、いつこの協議はされますか。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 社会教育課長。いつ協議といたしますか、この協議につきましては、もう結果の御報告、それから来年度開催をしていくという方向での御報告になるのかなというふうに思います。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。せっかく美術協議会という会があるわけですから、きちんと当然機能してないといけないと思いますし、今年度のそういう企画に関してのことは、お互いやっぱり協議会の中の方にも周知徹底をしていただきたいと思います。これは今後の美術館経営上とても重大なことだと思います。そのことに関して、「いわさきちひろ展」開催が今年度されない。来年度に持ち越されたということに関しまして、住民の方、特に美術館利用者の方に周知はされているのでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 社会教育課長。住民の方につきましては、延期という形としては、お知らせはしておりません。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。お知らせしてないということなのですが、これは美術館内に、そういう当然今年度の企画のお知らせはあると思いますので、その企画展が中止になった時点でやっぱりお知らせということで、せめて美術館利用者の方には周知をしていただきたいと思います。

美術館の中に魅力のある収蔵品があれば、また、それだけでも集客力のある美術館としてやっていけると思います。こういう毎年の企画展もそうなのですが、ちょっと質問いたします。

美術館の基本計画の中に、そういう今、高鍋美術館が持っている作品購入の項目は入っていますか。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 社会教育課長。高鍋町美術館としましては、作品の購入ということではなくて、寄託、寄贈による収集をしていくこと。それから、開催負担金は必要なのですが、企画展とか、特別展を実施いたしまして、町内外の方にすぐれた作品に触れていただくという運営の考え方であることによるものです。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。そういう協議も美術館協議会の中でいろいろ議論はされているのでしょうか、お伺いします。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 美術作品の購入についてですが、これは美術館開設当初から、先ほど申し上げたような運営方針といいますか、考え方でありますので、この辺についての美術館協議会の中での話し合いといいますか、そういったことは行っておりません。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。美術館協議会というものがあるならば、せっかくあるわけですから、そういう機能をしっかりと果たしていただく協議会に今後なっていただきたいと思えます。

それでは次に、観光客を商店街に案内するとき、町なかにまだ空き店舗がやっぱり目立ちます。以前に活用手段を聞いてはいますが、依然として空き店舗が埋まらない状況にあると思えます。自宅・店舗の一体型で、他人の利用が難しいとの理由をお聞きしていますが、その対策としては、どういうふうに講じられているのか、伺います。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 産業振興課長。空き店舗等、確かにまちの中では、いまだに目立つような状況がございます。

これにつきましては、商工会議所のほうでもいろいろと調査をしながら、どういう利用ができるかとかを検討しているところでございますし、今、町なかのほうでも、店を借りられる方について、家の改修とか、家賃とかいったものの補助等も出してございまして、それを徐々にふやしていくという方向とか、PRとかという形での進捗というのを図ろうと思っております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。以前からお聞きしていますが、なかなか依然として空き店舗が埋まらない状況というのを感じています。今後もそういう対策を講じながら、お願いしたいと思えます。

続いて、観光振興基本計画を策定中の花守山整備事業、持田古墳整備事業、舞鶴公園周辺整備事業の進捗状況をお伺いいたします。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 産業振興課長。先ほども答弁いたしました観光振興基本計画というもののうち、それぞれの施設の個の整備、あわせて面的、線的な整備というものを進めていこうという計画をしております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。そういった整備事業を継続中にも、観光客は足を運ば

れます。地元の住民、そしてまた観光客が一体になり、また、そういう完成までの過程をともに楽しめるようなおもてなしでお迎えしたいと思います。

また、集客目的や経済効果が見込まれるものの一つとして誘致があるのですが、この高鍋町は野球のキャンプに関しては、もう定着の感があるのですが、ラグビーの合宿誘致はできないでしょうか。ことしも県の代表として頑張っている高鍋高校ラグビー部は、観光客の中でも話題に上り、また有名になっています。

○議長（山本 隆俊） 政策推進課長。

○政策推進課長（吉岐 昌敏君） 政策推進課長。これまで、野球以外では、平成21年度に千葉大学医学部ラグビー部が高鍋で初めてキャンプを行っていただきました。平成22年度にフォローアップ並びに沖縄県の県内の自衛隊、大学にラグビーの合宿の誘致を行ってきたところです。

残念ながら21年度以降ラグビーの実績はございませんが、今年度は、千葉大学医学部、21年度にお見えになったところが本町における合宿の実施を、今、検討されているという事ですので、今後とも児湯郡のラグビー協会等と連携をしながら、合宿誘致を図っていきたいと思っております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） ぜひ、高鍋町民も全員、高鍋高校ラグビー部の応援をしていますし、また、そういう形でも高鍋町にラグビーのキャンプが行われ、また、いろんな誘致をされることをお願いいたします。

続いて、人にやさしいまちについてです。

人にやさしいという言葉から、人を思う、人のため、困っている人を助ける、孤児救済、イコール石井十次先生と私はつながります。石井十次の歌の歌詞にもあるように、今まさに世界の偉人と言えらると思えます。

石井十次先生の心を東小学校、西小学校の児童に伝えるための取り組みと、また、町としては来年、石井十次先生の没後百周年の行事で、どのような取り組みの計画があるのか伺います。

○議長（山本 隆俊） 教育長。

○教育長（萱嶋 稔君） 教育長。石井十次先生の心を子供に伝える取り組みということですが、高鍋町では石井十次の道徳資料というものを各学校に配っておりまして、それを基本に各学年が発達段階に合わせて石井十次の道徳の授業を行っております。

それから、2つ目の質問の没後100年に当たりますがということですが、今後、石井記念友愛社、それから石井十次顕彰会とも連携して、検討していきたいというふうに思っております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 東西の小学校で石井十次先生に関しての取り組みに差があるように感じていますが、教育長はどのようにお考えでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 教育長。

○教育長（萱嶋 稔君） 教育長。先ほど、最初に触れましたけども、4校とも同じように石井十次の道德資料をもとに道德の授業で取り扱っておりますし、また、ふるさと学習の中で、東西の小学校は石井十次先生に関する調べ学習等も行っております。

そういうことを考えますと、その取り組みの違いというのは、私はそんなになんじやないかなというふうに考えております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。縄の帯に出てくる十次少年の友達に対する気持ちが、高鍋の子供たちの心に根づいてほしい。その心のまま成長して青年になってほしいという思いは皆さん一緒だと思います。東西4校とも同じような取り組みをされているという答弁でした。こういう取り組みを通して、また来年の没後100周年の行事を通して、高鍋町の子供たちが石井十次先生に対しての思いをより深めてくれることを希望しています。

石井十次先生の心を今一番に伝えたいのは、子育て世代だと思うんですが、その子育て世代が高鍋町に住み続けたいと思う要因は何だと思われませんか。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） お答えいたします。

子育て世代が高鍋に住み続けたいと思う要因についてでございますが、私は、町長に就任して以来、一貫して安心・安全なまちづくりを目標の一つに掲げ、町政躍進のため全力で取り組んでまいりました。

また、平成22年3月に作成いたしました高鍋町総合計画において、住民参画による快適で美しいまちたかなべ、子どもがにぎわうまちづくりを掲げ、各種子育て支援事業を積極的に推進してまいりました。

今後もこうした子育て支援事業をさらに推進することにより、子育て世代が安心して住み続けることができますよう、子育てしやすい環境づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。今、町長から答弁していただきましたように、高鍋町は子育て支援に関して細やかな対策が立てられ、実際に住みよい町になりつつあると思います。

ただ、子供が小学校に上がり、仕事を本格的に始める保護者が多い一方で、子供の保育の問題は重要になってきています。以前から質問、要望をしていました放課後児童クラブに関しての現状をお聞きいたします。ここ5年間の申し込みの人数の推移をお聞きいたします。

○議長（山本 隆俊） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（河野 辰己君） 健康福祉課長。放課後児童クラブの申し込み者数と入所

児童数の推移についてお答えしたいと思います。

平成21年度から平成22年度はちょっと記録のほうが残っておりませんので、入所者数のみとなりますが、平成21年度につきましては、東小校区が86名、西小校区が92名、平成22年度につきましては、東小、西小校区ともに86名、平成23年度4月1日現在におきましては、東小学校が、申込者数が103人に対しまして入所者103人、西小学校区が、申込者数86人に対しまして入所者数が85人、平成24年度4月1日現在におきましては、東小校区が、申込者数93人に対しまして入所者数90人、西小校区が、申込者数97人に対しまして入所者数が96人、平成25年度4月1日現在では、東小校区が、申込者数110人に対しまして入所者数104人、西小校区が、申込者数85人に対しまして入所者数85人となっております。年々増加傾向にあるようでございます。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。子供を取り巻く環境が目まぐるしく変わる中で、以前から質問、要望していますが、今後の放課後児童クラブの方向性はどのようになりますか。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） 町長。お答えいたします。

東小学校児童クラブについての場合ですが、ここ数年同校児童クラブへの申し込み者が増加している状況でございました。こうした現状を踏まえ、町といたしましても同校内に増設ができないかということは検討しておりました。しかしながら、今年度、教育委員会等との協議が整いまして、教室を使用できるということになりましたので、そういう方向性で今行っているところでございます。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。もう大変うれしい答弁をいただきました。高鍋は、安心して子供を預けて働ける町、そんなお母さんたちの声が本当に広がってくれば、人の流れのある町になれると思います。

前回視察に行った福岡県宇美町では、子育て世代が住む条件の一つに、この町では図書館の充実ということが上がっているとお聞きしました。

それで、最後になりますが、高鍋図書館についてお伺いいたします。

この高鍋図書館ですが、先ほど答弁して、回答もいただきました。これは要望になりますが、今の高鍋図書館、子供たちは図書館が大好きです。子供たちや利用者のアンケートの声を最大限に取り入れていただき、また現在、県の美術館勤務を経験された教育長、社会教育に詳しい館長、器用で感性のすぐれた副館長、現場での実績があり何でも相談に乗ってくれる司書がそろっている高鍋図書館です。

今後、どのような形になるかわかりませんが、利用者がふえ、そして高鍋の知の泉になることは間違いのないと思います。

それでは、もう本当に最後の最後になりました。最後のお願いですが、きのうから青木議員、中村議員、また、きょうは黒木議員のほうから出ておりました。そしてまた、けさの宮日新聞の「うすでこ」にも載っていましたがキャロライン・ケネディ大使の記事のことなんですが、このケネディ大使が山形県を訪問される際には、ぜひ高鍋東小学校のメアリーちゃんを同行して、鷹山公ゆかりの高鍋町として、またPRをしていただけたらと思います。また、高鍋町にお越しの際には、本当に町長を筆頭に、人口2万人の私たち全ておもてなしの心でお迎えしたい、そういう要望をお伝えして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（山本 隆俊） これで、津曲牧子議員の一般質問を終わります。

ここでしばらく休憩したいと思います。11時35分から再開したいと思います。

午前11時25分休憩

.....

午前11時35分再開

○議長（山本 隆俊） 再開します。

日程第1. 一般質問

○議長（山本 隆俊） 次に、5番、緒方直樹議員の質問を許します。

○5番（緒方 直樹君） 5番。それでは、一般質問の通告に従いまして、次のことを伺いたいと思います。

まず、高鍋町の活性化について。

1、町人会の現在の状況及び今後の展望について伺う。2、人口増加させるための手段について伺う。3、誘致企業の現在の成果及び今後の展望について伺う。4、町立図書館の整備及び今後の利用について伺う。5、花守山の整備及び観光の集客力を高めるための考えを伺う。6番、24年の6月の一般質問での答弁において、別館の教育委員会部局を移動する考えを保留ということでしたけれども、そのあとの計画及び別館の利用について伺いたいと思います。また、先ほどの16番議員の質問と少しかぶってしまうかとは思いますが、また違った角度で質問できればと思います。

あとの詳細については、発言席から伺いたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） 町長。お答えいたします。

まず、町人会の現在の状況についてでございますが、これにつきましては、平成24年5月に当町初となる高鍋町人会近畿高鍋会が発足いたしました。昨年5月の設立総会以降は、発起人の方々や事務局を中心として会員確保を進められ、着実な運営が行われているところでございます。

本年5月には第2回の総会が開催され、多くの方々に参加されております。私も議長とともに出席し、関係者の方々と町人会運営について意見交換させていただき、また、参加

者の皆様と親しく交流をさせていただきました。

関係者との意見交換を通じて継続的な会員情報の提供や、運営費の助成等は近畿高鍋会の自主的運営体制の確立に非常に重要であると感じており、引き続き支援を行いながら町政の発展、活性化に資する情報等を共有してまいりたいと考えております。

次に、人口増加のための手段についてでございますが、全国的にも人口減少時代に突入したと言われる現在では、多くの自治体において人口の減少が懸念されているところでございます。本町も例外ではなく、国勢調査でも近年の人口は減少しており、将来推計においてもわずかながら減少傾向は続くものと予想されております。

また、人口の減少とともに少子高齢化の進行も予測されることから、働き手の減少による労働生産性や地域活力の低下も懸念されます。これら人口減少や少子高齢化対策としまして、これまで子育て支援、住環境の整備、就業機会の確保、情報発信など各種の事業を実施しておりますが、今後も長期的な視点に立って継続的な施策の展開が必要であるとと考えております。

また、本町では、第5次総合計画におきまして、目標人口2万2,000人と設定しております。現在策定中の後期基本計画におきましても、この設定値に向けて人口減少対策を重点施策の一つとして位置づけ、防災対策による安心・安全なまちづくり、子どもを産み育てやすい環境づくり、定住環境の確保、雇用の確保など、多面的な施策の展開により人口の増加を図ってまいりたいと考えております。

次に、誘致企業についてでございますが、本年1月に立地に関する協定を締結しました企業につきましても、その後、雲雀山地区に工場用地を取得し、第1工場を4月に竣工、現在は新規雇用者への技術研修等を重ね、生産体制の構築が進められております。先般、本社訪問を行った際には、高鍋工場については設備の拡張と人員確保を行った上で、早期に軌道に乗せていく方針とのことでもございましたので、今後も進捗状況に応じて各種の支援を行ってまいりたいと考えております。

また、今月初旬には、町内に加工食品を製造する工場が稼働を開始しており、こちらにつきましても、直接的な誘致活動の成果ではございませんが、会社設立準備の初期段階における助言、指導等がスムーズな工場の稼働に結実したものと考えております。

これらの状況を踏まえ、今後も新規企業はもとより既存企業も含めて各種の情報提供やフォローアップの実施など、継続的な支援を行い、地場産業の活性化、就業機会の確保を図ってまいりたいと考えております。

次に、町立図書館の整備及び今後の利用についてでございますが、昨年実施いたしました耐震診断の結果につきましては、耐震指標であるI s値が文部科学省の推奨値を上回っております。図書館の整備に関しましては、先ほどの16番議員からの御質問でもお答えしましたように、アンケートの結果なども考慮して、総合的に検討してまいりたいと考えております。

次に、花守山整備及び観光客の集客力についてであります。花守山整備は平成23年

に着手いたしまして、本年の工事で斜面部分の排水路と散策道の築造を行うこととしておりますので、花守山としての外観ができてくるものと考えております。

また、観光PRなどにより花守山を紹介することで、観光客の集客アップにつながるものと認識しております。

○議長（山本 隆俊） ちょっとしばらく休憩します。

午前11時45分休憩

.....

午前11時46分再開

○議長（山本 隆俊） 再開します。

町長。

○町長（小澤 浩一君） 町長。済みません。24年6月の公民館別館の教育委員会部局を移動する考えを保留させた件についてでございますが、24年3月議会で防災減災基金を利用して教育委員会部局を含めた第2庁舎の建設を計画したところですが、基金の性質上、活用ができなかったことから、教育委員会部局の本庁施設内への移転は保留してまいりました。

以上です。

○議長（山本 隆俊） ここでしばらく休憩したいと思います。13時から再開します。

午前11時47分休憩

.....

午後1時00分再開

○議長（山本 隆俊） 再開します。5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） それでは、町人会の現在の現状と今後の展望についてのさらなる質問等をしていきたいと思っております。

先ほど町長答弁のほうで、継続的な支援を行うというふうに答弁をされておりますけれども、具体的に済みません、もう一度どのような支援を行うということで考えていらっしゃるのでしょうか、お伺いいたします。

○議長（山本 隆俊） 政策推進課長。

○政策推進課長（吉岐 昌敏君） 具体的にはまだあれなんですけど、今、向こうのほうで実際事務局が運営できるような助成金を出してお願いをしてる部分もありますので、そういうのをしばらく、きちんとした体制が整うまではそういう体制をとりながら支援をしていきたいというふうに思っております。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） では、そのように体制が整うまで頑張っていただきたいと思っております。

それでは、関西のほうの近畿高鍋会以外の、例えば東京、福岡などの町人会の設立のめどは立っているのかどうかというのを伺いたいと思っております。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） 町人会のほかの地域の現状でございますが、これにつきましては東京、福岡地域におきましても町人会の設立を目指しているところでございますが、そのためにはまず、地元で主体的に行動できる、地元というのは東京とか関西とかの地元ですね、協力者の確保が最優先であります。近畿高鍋会の設立の経緯から言いますと、継続運営のためにも最も重要な要素になっておると考えております。残念ながら、現在のところ東京、福岡地域において有力な協力者を見つけるのがまだそこまで至っておりませんので、そういったことを徐々に見つけながら頑張っていきたいと思っております。今、名古屋は、福岡も出ましたが、名古屋も私より1つ下ぐらいの方が定年されていらっしゃるのです。その人に、今までいろいろ関西の集まりとか行っていらっしゃるの、あなたが中心になってやってくれということは申しております。それから東京も同年等おりますので、また機会があったら行って、みんなで集まっていたらそういうお話をしようとは思っております。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） これは前回も同じことを言ったと思いますけど、人を集めるというのは大変大変なことだと思います。またやってくれるということはそれだけのパワーが必要だと思いますので、町長初め職員の方にはそういう方々との接し方ですかね、一生懸命説得していただければと思います。

またこれもちよっともう一度お伺いするという事で、町長のお気持ちを聞かせたいんですが、以前私のほうは高鍋だけではちょっと限界があるのではないかなという思いがありました。その際には町長は高鍋でやるよと、一つの町でやるよということだったんですけども、その気持ちに変わりはないかどうか伺いたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） 町人会は、同郷の出身者がふるさとの思いや昔の思い出などを唯一語り合える場所でもありますので、高鍋町単独での設立を進めてまいりたいと思っております。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） それでは町人会のほうはこれで終わりたいと思います。

次に、人口を増加させるための手段についてということで、先ほど子育て支援であったりとか放課後児童クラブですかね、そちらのほうのお話を伺っておりますが、先ほどの16番議員のほうの推移のほうで年々ふえているということなんですけども、申し込み数ですかね、なんですけど、要は面倒を見る従業員、従業員と言えばよろしいんでしょうか、それとも教員と言えばよろしいんでしょうか、ちょっと私がそこら辺勉強不足で申しわけないんですけども、そこら辺の確保とか児童に対する面倒を見る方の確保というのは十分なのかどうかお伺いいたします。

○議長（山本 隆俊） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（河野 辰己君） 放課後児童クラブでありますとか一時及び休日保育事業についての体制についてでございますが、放課後児童クラブにつきましては、東小校区に3クラブ、西小学校区に2クラブがありまして、定員につきましては全クラブで130人、本年度4月1日現在の入所者数が189人となっております。各クラブの指導員数についてでございますが、合計39名となっております、そのうち保育士、幼稚園教諭などの資格を有する職員が33名となっております。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） 今、130人の定員に対して189人ということで、保育士さん等が39名ということなんですけども、私が聞いたかったのは、それで現状を足りているのか、それとも何か、現状で何か問題点が出ているのかどうかというのをあわせて質問したいと思います。お願いします。

○議長（山本 隆俊） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（河野 辰己君） 失礼しました。現状の職員体制としては、それぞれに法律・法令等で定められた基準に基づいた職員配置が的確になされております。

それと、職員の確保についてでございますが、これにつきましては、現在、保育園にあっては一時保育とかそういった休日保育とかにおいても実施しております。特に保育士の確保が非常に厳しい状況というのはもう全国的にも皆同じでございますが、現在私立保育園が行っております保育士につきましては、保育士等の処遇改善事業を行っております、各私立保育園について支援を行っているところでございます。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） それでは、もう一つ待機児童です。先ほど16番議員のほうでは年々ふえているということで人数はおっしゃっていただきましたので、189名ということなんですけども、それで、待機児童というのは現在いるのかどうかお伺いします。

○議長（山本 隆俊） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（河野 辰己君） 待機児童については基準が4月1日と10月1日で基準を設けまして報告することになっておりますが、いずれの基準日においても待機児童は発生しておりません。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） また法改正かなんかの間テレビでされるということで、まだこれはまだ先の話ということらしいのでいいんですけど、児童の1人当たりの面積が一応今基準を満たしているということで間違いはないか、もう一度だけ、それだけお願いいたします。

○議長（山本 隆俊） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（河野 辰己君） 各小学校等々で放課後児童クラブの事業を行っておりますが、そういったガイドライン等々で示された基準を適切な形で事業の運営を行っているところでございます。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） それでは、別の角度からということなんですけども、人口増加ということで、きのうの青木議員のほうも質問があったと思うんですけども、他町の動向を見てみますと、住宅を建築する際の補助とかを、きのうは新富町が何かその検討しているというような話でした。実際、木城とか川南町は現在そういう補助を行っているというふうにお伺いしておりますけども、当町のほうではそのような考えがあるか、検討するかどうかというのを伺いたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） 人口減少の抑制を目的として、近隣自治体でも実施されております転入時や住宅取得等に対する助成金給付等の奨励措置についてでございますが、現時点では本町では実施する考えはございません。このような措置は移住・定住を検討する方にとって一定の効果はあるものと認識はしておりますが、本町の地理的、社会的利点を効果的にPRするなど、地域特性を生かした定住促進策を図ってまいりたいと考えております。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） それでは、今言われた地域特性を生かしながらということなんですけども、それもあわせて、先ほどの町長の答弁のほうで住環境の確保を図るというような答弁もあわせました。それでその2つについて、地域の特性とは何か、また住環境の確保を図るとは具体的にどのようなことを指しているのかをお伺いしたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 政策推進課長。

○政策推進課長（吉岐 昌敏君） 先ほど町長も答弁しましたけども地域の利点、特性ですね、地域の特性というようなことで地域的な社会的なことをPRするというようなことをおっしゃったんですけども、地理的な特性というのは宮崎市から通勤圏でもであると、海、山、川、自然に恵まれていると、温度もそう寒くない、安定している、住みやすい環境の中にあるということです。それと、歴史的なものとしましては高鍋藩秋月家の県内でも3箇所程度しかない史跡を持って、すばらしい環境の中にあるというようなことが知的な社会的な利点になるのではないかと考えております。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） 今言われたとおり、私もそう思います。実際、高鍋町役場のホームページ等で見ますと移住情報ですか、まさにそのようなことが書いてあるのかなと思います。これに関して、アクセス数とかがもしわかるのであれば教えていただきたいんですが、反響とかそういうのがわかるか、わからなければわからないでそれは構いません。

○議長（山本 隆俊） 政策推進課長。

○政策推進課長（吉岐 昌敏君） 済みません。ちょっと、アクセス数とかはちょっと今把握しておりません。申しわけありません。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） これを見て高鍋町に住みたいとかそういうふうに見える方もいらっしゃると思いますので、できればちょっと知りたかったかなと思ったんですけども。これに関してはもうわからないということであればそれではないと思います。

それで、1点だけちょっと、移住情報発信の中でちょっと私1つ疑問に思ったのがございまして、土地の価格なんですけども、高鍋町の住宅地平均地価は2万5,100円ですかね、1平方メートル当たりということなんですけど、これは全体的なやつだと思うんですけど、これでちょっと勘違いされる方もいらっしゃるのかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 政策推進課長。

○政策推進課長（吉岐 昌敏君） 今ホームページに載せております平均地価価格2万5,100円というのは、ちょっと私もいつの統計の資料かちょっとはっきりわかりませんが、先ほどちょっと見たところ、いわゆる昨年度の平均値、公示価格というのがありますけども、その平均値で見ますと平米当たり2万9,500円というのが平均値になっているようでございます。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） それでは、ちょっとこれだと私誤解招くのかなと思いますので、一番安いところと高いところ、あと地域、第1種、第2種とかあると思いますけど、そういったところも表示されたほうがより具体的にわかりやすいのかなと思いますので、これに関しては改訂、改訂というか書き方をちょっと検討していただければと思います。

それでは次にいきたいと思います。済みません、先ほどから咳ばかりしておりますが、もう少しおつき合ください。

それでは、誘致企業についてなんですけども、現在、雲雀山のほうとかされてるということで確実に成果を出されていると思っておりますけども、今後、今誘致に向けてる企業とか、また新たな誘致をするに向けて何か展開とかをどのように考えていらっしゃるのか伺いたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 政策推進課長。

○政策推進課長（吉岐 昌敏君） 新たな展開ということはなかなか難しいんですけども、今現在やっていることなんですけども、東京在住の企業誘致コーディネーターというのを設置しておりますので、その方を中心に県と連携をしながら誘致活動なり情報収集を図っていきたいというふうに考えております。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） 今、コーディネーターさんですね、一応お話前回も伺ってると思

うんですけども、大体こちらのほうは大体月に1回程度会合があつてるとかそういう、何というんですか、情報が来たときに話し合いをされるのか、それとも定期的に話し合いをされてるのかというのを伺いたと思います。

○議長（山本 隆俊） 政策推進課長。

○政策推進課長（吉岐 昌敏君） 定期的にやつてるといふことは今のところありません。ただ、町長が上京とかされたときにはその機会に町長と面会して、その状況なりを報告してもらふようにはしております。ただ月ごとの、きょう何をしましたという報告書が参るようになっておりますので、その報告書をもとにやりとりをしているところでございます。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） それでは、誘致企業に関してはまたこれからも頑張つていただければと思います。

それでは、4番の図書館の整備、今後の利用ということと、6番の教育委員会の部局、これあわせて質問させていただきたいと思つています。

前回御質問したときには耐震診断の結果の後、施設整備方針を策定するというところで、16番議員のほうでもアンケートを総合的に検討した後のことでまた総合的に検討するよということなんですけども、めどというのは、めどというかいつまでに検討されるのかをお伺いしたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） めどといいますか、期限を切つているということではございません。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） 期限を切つていないということなんですけど、じゃあめどはいつまでたつても立たないということによろしいんですか。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） そういつたことではなくて、町長も申し上げましたが、今後も鋭意、アンケート結果を総合的に判断それから財政状況も判断をしながら、できるだけ早目に方針を打ち出せるようにしていきたいとは考えております。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） ちょっと失礼な言い方しました。済みません。先ほどの16番議員のときにちょっと気になつた図書館のやつで聞きたいことがあるんですけども、アンケートの8割弱が図書館を利用していないというアンケート結果が出ているということだったんですけども、その理由とかそういうのは記載されてたんでしょうか。それとも、している、していないということだけだったんでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） その設問の仕方としては、なぜ利用していないのかということ自体は聞いておりませんが、今後の図書館についてこうあればいいというふうな設

間は別に設定をしております。ですから、なぜ利用していないのかということについて直接的に設問はされておりませんので、そういうふうに御理解いただければと思います。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） それでは今のはしてる、してないということではいいんですけど、今、どのようにあればいいのかというのはアンケートに出されているということでしたので、わかる範囲で構わないんですけど、どういふのをアンケートでは望まれていたんでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） これは図書館についての満足度についてお尋ねしますというふうな質問の仕方です。それで、多いところから申し上げます。まず、満足度の低い、低いといいますか不満だということになります。駐車場の状況、車のとめやすさとか広さ、ここが半分以上の方が不満を持っておられる。それから設備の状況、これは読書勉強の机の広さとか冷暖房などです。そういった環境的な部分なんです、3割の方が不満を持っていらっしゃる。それから、あと読みたい本や雑誌などの種類、冊数、これは蔵書数ということになるかと思いますが、29.4%の方が不満であると、残り21.5%の方がやや不満ということになりますので、半分の方がほぼ不満というふうなことになるかと思いますが、そのほか、立地条件等もございまして、そういった今申し上げたものが大ききところだというふうな結果でした。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） そしたら逆に、満足しているというところは、そういう設問はあったんでしょうか。もしあればお答えしていただきたい、なければいいです。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） この設問の仕方を逆から見ますと満足しているという部分を読み取れるかとは思いますが、多いところから言いますと、満足、やや満足という方ですね、ここが26.8%、18.9%、ここが一番多いんですが、これは職員の対応、態度、サービスそういったところが一番満足度が高いというふうに言えるかと思いますが、あと、続いて開館時間ですね、営業時間。ここについても3割以上の方が満足をしておられるというふうな状況です。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） 職員の対応がいいということは非常にいいことなのかなと思います。

じゃあ、ちょっと不満足だよというところからお話を広げていきたいと思いますが、先ほど駐車場の件でちょっと狭いよというようなお話をアンケートではあったということなんですけども、門を広くされてますけども、多分好評だったというようなお話は受けるんですが、それでもやっぱり台数が狭い、とめる台数が狭いということで不満ということなんでしょうか。考え方をちょっとお伺いしたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 平成23年度に入り口の間口を広げさせていただきましたが、そこ自体については評価が高いお声をいただいております。不満といたしますのは入り口ではなくて、駐車場の内部に入った広さについてまだ不満とっておられる方が多いということです。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） では、前回の質問で聞いたことなんですけども、駐車場がやっぱり狭いということで、前回の質問のほうで近くの土地を貸すよというような地主さんがいらっちゃったと記憶しておりますけども、その土地とかを借りる、借りないとかいうのは検討されたかどうか。ちょっと地価が高いよということで無理なんじゃないかということで町長答弁では書いてあったんですけども、もしその後、何か展開があれば教えていただきたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） そういったお話が以前ございましたが、図書館の整備を耐震診断からアンケート調査ということで検討しておりますので、そういった土地、周辺の土地の購入については話は進めておりません。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） これから、ちょっと6番のこともあわせて、図書館とあわせて質問していきたいと思います。

ちょっと図書館のことは置いておきまして、もう一度確認ということでお伺いしますけども、別館の教育委員会部局を移動する考えを先ほどの町長答弁ではまだ保留しているみたいのような形なんですか、まだ保留ということで間違いのないのか、それとももう断念したのかなと思っていたんですけども、もう一度だけ確認をさせてください。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（森 弘道君） 先ほど庁舎の関係で減債基金というのがあったんですが、それで1回はあれしたんですけど、先ほど申し上げましたとおり耐震補強工事をやるということで、ピロティの部分が多分部屋になるというようなこともあって、あそこの改造を含めてやはり庁舎の配置等も考えるということで、今いろいろ考えておりますが、今のところ教育委員会についてはこちらには、移設するということになるとまたそれでも若干面積が不足するというようなことが予想されますので、今のところ、教育委員会がこちらに来るということについては今のところないという考えでおります。また別館につきましても今耐震診断を行っております、その結果がまだ出ておりません。その結果を受けてまた別館そのものの存続等についてはその時点からまた検討するというようなことになろうかと思っております。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） ちょっと質問しようかなと思っていたのを先に言われたのであれ

だったんですが、別館のほうが耐震診断、私もちよっと、しているということで、何かもう診断結果は終わったというような話を聞いたんですけど、まだ終わっていないということで、じゃあ私の情報が間違ってるということですね。わかりました。

前回はそうだったんですけども、今回、体育館が改修工事されておりますし、あそこを図書館とかにできるといいなというような考え、別館を図書館みたいなことにできるといいかなというふうに私個人的には思ってます。今の現在の図書館というのはもう築年数も、耐震診断の結果大丈夫ということなんですけども、できれば古文書とかそういう使い方でやっていただいたほうがいいのかなというふうには思っておりますけども、これは先ほども答弁がありましたようにアンケートを総合的に検討してそれから決めるということですので、できればぜひそういうことも一つ頭の中に入れておいていただければなど、これは思いです。ということで次の質問にいきたいと思えます。

花守山の整備ということなんですけども、前回の質問で駐車場の整備を考えている、計画しているという答弁がございましたが、現在の状況はどのようになっているのかお伺いします。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 花守山の駐車場についての御質問だろうと思えます。現在の計画では大師堂の北西側、若干離れておりますけれども、そこに普通車を数台程度駐車できる程度の規模の駐車場を予定はしております。以前御質問があったときに、大型バスなどの駐車場ということでございましたけれども、大師堂までの乗り入れにしまして道路等の問題によりましてちょっと不可能であろうという判断をしております。そのため花守山の近辺にできましたら大型バスの駐車場を設置しまして、そこから花守山に行って散策をしていただくというような手法の検討を今計画をしているところでございます。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） まず、先ほど言われた北西部で数台程度とめられるということなんですけども、具体的に花守山から何百メートルぐらい離れているのかお伺いします。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 現在の計画では直線距離では100メートルないだろうと思えます。ただ、古墳を回りながら展望台のところまで行くというような形になるかと思えますので。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） そのように、100メートルしかないみたいで古墳を回るということなんですけども、例えば一般的な健康な人だったら歩いていくには十分問題はないと思えますけど、少子高齢化ということもありまして、高齢者が歩くことに対して例えば危険性がないのかとか車の通りが、余りあそこはないと思えますけども、そういう安全面のことはどのように考えられているのでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） もちろん駐車場それからグラウンドゴルフ場もござい
ます。それから当然展望台のところも設置する予定ですから、手すりそれから歩行に際し
ての危険のないような状態の整備というのは考えております。もし展望台のところにも、
計画ではございますけども、車椅子等の方とか、そういった方がおりられるようなスペー
スというのはつくりうかなという判断はしておりますけれども。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） ではそのように考えていただけたらと思います。

先ほどまた駐車場でまた同じような質問、別の質問になりますけども、大型バスとかを
下の駐車場を検討するみたいなことをおっしゃってございましたけども、下から行くとした
ら階段を上るのかなと思うんですけども、あそこはたしか私有地から入らないと階段のほ
うには行けないと思うんですけども、その点に関してはどうのように考えていらっしゃいま
すでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） まだ、先ほど申しました大型バス等がとまれる駐車場、
この位置を明確にはまだしておりません。ですからどこを通過して、例えば、当然私有地と
いうことになれば、もしかすると買収なり何なりということでは階段なり何なりつけるとい
う方向になる可能性もあろうかと思えます。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） それでは、これはまた計画段階ということで具体的なことはまだ
何も言えないと思えますけども、申しわけないんですけどもこれわかればいいです、そ
ういうことはめどは、いつまでにやりたいとかそういうめどが立っているのであれば、わ
かっているのであれば教えていただきたいと思えます。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） まだ明確にはいつまでというめどといたしまして、
計画上はできておりません。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） それでは、これは土地の地権者とかそういうこともあると思いま
すので、なるべく早目にさせていただければなと思えます。

先ほど花守山とかヒマワリ畑のことで、もう1万人超えているとかというような答弁をさ
れておりましたけども、こちらの方々はやっぱ町外、要は宿泊施設等で泊まってるとか、
要は外から泊まって来ているのかというのはわかりますか。これわからなければわからな
いでも構いません。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 明確には判断できておりません。ただ、先ほどの16番
議員でしたかおっしゃいました観光ボランティアさん等をお願いしまして、その方たちと
の聞き取り等をしていただいたときに、町外からは来られてるけれどもお泊まりではない

とか、まちまちではございます。その数字等につきましては先ほど申しあげました明確にはできておりません。

○議長（山本 隆俊） 5番、緒方直樹議員。

○5番（緒方 直樹君） こちらはちょっと私も質問する予定ではなかったことだったんですけども、あれだったんですが。こちらの花守山だけでなくヒマワリ畑とかも今後もまた、高鍋役場の方と商工会議所、農協関係の人たちと一体になってやってもらってると思っております。またこれも今後も頑張っていて、高鍋の観光であり発展でありというのに尽力していただければよろしいかなと思います。

拙い質問だったんですけども、これで終わりたいと思います。以上です。

○議長（山本 隆俊） これで緒方直樹議員の一般質問を終わります。

○議長（山本 隆俊） これをもって一般質問の全てを終わります。

以上で本日の日程は全て終了しました。本日はこれで散会します。

午後1時40分散会
